

2019 年度岡山大学実践コミュニケーション論 レジューメ【A クラス】

第 2 セッション(第 1 課題)

第 5 回 11 月 06 日(水):第 1 課題(1-1)の説明

第 6 回 11 月 13 日(水):課題解決の話し合い

第 7 回 11 月 20 日(水):プレゼンテーション(第 1 課題の解決策の発表)及び振り返り

・チーム分け(PBL 提示の都度します):希望チーム分け表 <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/team.pdf>

・次の資料の配付(PBL 提示の都度配付):

①KPT 法と PDCA サイクル(PBL セッションを通じて作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/kpt-pdca.pdf>

②自己の振り返り評価用(PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-personal.pdf>

③チームのメンバーの振り返り評価用(PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-member.pdf>

作成時の留意点

著作権侵害に気を付け、出所を明らかに!

PBL 第 1 課題と説明

課題: (モノの国際移動の関連課題) 輸出加工食品の値段とマーケティングの調査報告書の作成

ねらい ⇒ どのように調査すべきかを考え、各チームで考えた調査の実施を通じて、海外市場の加工食品の二次調査の方法を知る。原価構成の調査(調査項目の⑤)までたどり着けば、商いの原価の構成と貿易の流れを知ることができる。

地元岡山の菓子メーカーが、香港に「ピュアショコラ」というチョコレートを輸出しています。これについて、あなたは次の点を調べて報告するよう指示されました:

① その菓子メーカーはどこかの会社かの調査、及び「ピュアショコラ」の香港での小売価格及び日本での小売価格の調査

香港で販売されている日本製チョコレートにはどのようなものがあるのかの調査

② そのチョコレートの HS コードの調査と同種の日本のチョコレートはどこかの国・地域に多く輸出されているかの輸出統計(2018年)の調査

③ 香港の関税率と VAT の調査

④ 香港の市場(マーケティング)の基礎情報

これらの調査項目について、下述の「調査活用サイト」を利用しながら各チームで調べ、その調査結果の感想を含む調査報告書を作成してみてください。

⑤ なお、できれば、香港での小売価格がどのような輸入原価構成から成っているのか、これに関連して輸出の流れとそれに伴って発生する物流コストを考えてみたい。

PBL のグローバル課題についての基礎知識

・国際売買取引で使用する基本的な貿易条件を押さえておこう。

INCOTERMS®2010 の 11 種類の引渡条件の理解

費用の範囲と混同しないように!

輸出者 ← 国際売買契約 → 輸入者

a b c d e f g h i j

Ex-Godown

税関

内国貨物 外国貨物

本邦にある貨物 本邦にない貨物

本船(外航船)

- ①輸出者が輸入者に貨物を輸出者の工場で引渡す。⇒EXW (Ex Works) 工場渡し
- ②輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、輸送費を払って、船積港のCYで引渡す。⇒FCA (Free Carrier) 運送人渡し
- ③輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、運賃を払って、船積港の船上で引渡す。⇒FOB (Free on Board) 本船渡し
- ④輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、船積港の船側で引渡す。⇒FAS (Free Alongside Ship) 船側渡し
- ⑤輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、仕向港までの運賃を払って、船積港の船上で引渡す。⇒CFR (Cost and Freight) 運賃込み
- ⑥輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、仕向港までの運賃及び海上保険料を払って、船積港の船上で引渡す。⇒CIF (Cost, Insurance and Freight) 運賃保険料込み
- ⑦輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、仕向港までの輸送費を払って、船積港のCYで引渡す。⇒CPT (Carriage Paid to) 輸送費込み
- ⑧輸出者が輸入者に貨物を輸出通関後に、仕向港までの輸送費及び海上保険料を払って、船積港のCYで引渡す。⇒CIP (Carriage and Insurance Paid to) 輸送費保険料込み
- ⑨輸出者が輸入者に貨物を輸入通関前に、仕向港の船上で引渡す。⇒DAP (Delivered at Place) 仕向地持込渡し
- ⑩輸出者が輸入者に貨物を輸入通関前に、仕向港の船卸し後に引渡す。⇒DAT (Delivered at Terminal) ターミナル持込渡し
- ⑪輸出者が輸入者に貨物を輸入通関後に、輸入国の指定場所で車上で引渡す。⇒DDP (Delivered Duty Paid) 関税込持込渡し

質問：上の各引渡しの説明は、イラストのアルファベットのいずれの場所に当たりますか？下欄にアルファベットを入れて答えなさい。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪

<http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/incoterms2010-rikai.pdf>

演習：輸入バッグ店の儲けは!?

次の輸入バッグの儲けを計算してみよう。(次のサイトの表に従って計算すると簡単かも!<http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/baibai-no-keisan-okadai.pdf>)

1個 FOB で50ドルのバッグを100個輸入しました。その際、1ドル100円でした。また、この輸入に際し、海上運賃1万円と海上保険1万円が、さらに関税1万円と輸入通関諸費用1万円がかかりました。消費税は考えないものとします。

仕入原価 (CIF 価額に仕入諸掛 (輸入に要した諸費用) を加算したもの) の20%の利益を見込んで予定販売価格を設定しました。予定販売価格の10%引きで50個販売しました。この場合の儲け (利益額) はいくらでしょうか。

調査活用サイト

次の①～⑤の番号は、上の調査報告項目に対応しています。

- ① ジェトロ農林水産物・食品 海外マーケティング基礎情報 品目別現地市場価格調査 2019年4月調査：https://www.jetro.go.jp/industry/foods/marketing/price_com.html
2018年4月調査：<http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/chocolate.htm>

演習：【調べておこう】JETRO (ジェトロ) って、何？



- ② 税関 HSコード (関税分類の概要) http://www.customs.go.jp/tetsuzuki/c-answer/imtsukan/1201_jr.htm

税関 輸出統計品目表 (最新版で) <http://www.customs.go.jp/yusyutu/index.htm>

輸出統計の調査 <http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm?M=01&P=0>

調査方法：調べた輸出HSコード9桁を使用して、財務省の貿易統計における品別国別表にて、「統計年月の指定」を2018年の『年内の累計』に、「品目の指定」を『品目コード指定』に、「表示件数の指定」を『200』にして、輸出の上位国・地域5位までの数量と金額をリストしてみよう。

- ③ ワールドタリフで香港の関税 (DUTY) と消費税 (VAT) を調べる。

World Tariff : Your User ID is nagamitsu_reo Your password is txsQSNA9
<https://ftn.fedex.com/wtonline/jsp/wtoMainUL.jsp?pageName=wtoMain.jsp¤t=Search%20Options>

変更しています!

- ④ ジェトロ農林水産物・食品 海外マーケティング基礎情報 国・地域別マーケティング基礎情報 <https://www.jetro.go.jp/industry/foods/marketing/>

- ⑤ 農水省 輸出のコスト分析 P.19 http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_hint/pdf/hint2009_02.pdf

この19頁の「ケース1」の表 (次頁参照) を応用して、エクセルを利用して輸出のコスト計算をしてみましょう。

なお、梱包情報及び換算レートは以下の通りとします。

梱包情報 Packing Information	換算レート Exchange Rate
<p>ピュアショコラ 162g/袋</p> <p>内箱の入数: 162g/袋×6袋</p> <p>商品1袋のサイズ(高さ×奥行×幅): 180mm×165mm×239mm</p> <p>内箱の重量: 1.06 Kg 内箱のサイズ: 8.6cm×34.9cm×25.3cm</p> <p>輸出梱包の1ケース当たりの入数: 4内箱(24袋) Gross Weight: 5kg</p> <p>1ケースのサイズ: 30cm×40cm×35cm = 0.042m³</p>	<p>1HK\$=JPY14-とします。</p>

ここでは、この0.042立方メートルが重要!

コスト計算のための情報のポイント

1ケース24袋入り。1ケースのサイズ:30cm×40cm×35cm=0.042m³。1HK\$=JPY14-

ケース1

出典:農水省 輸出のコスト分析 P.19 より

国内保税庫の納品単価 ¥120 (20個入りケース当たり ¥2400)
 [国内メーカーの希望小売単価 ¥200 (20個入りケース当たり ¥4000)]

品目・仕向地	加工食品一般 ニューヨーク	香港と読み替えます
輸出形態	海上コンテナ(混載)	
ロット	1ケース 20個入り 、外(30cm×40cm×35cm)=0.042m ³ (立米)	

24袋と読み替えます

(1ロット(1ケース)当たりのコスト)

(¥100=\$1で換算)

国内保税庫納入価	(@ ¥120)	20入 × @ ¥120	¥ 2,400
ケースマーク・ラベル代		ケースマーク¥10+ラベル代20枚 × @ ¥4/枚	¥ 90
貼り手間		20枚 × @ ¥6/枚	¥ 120
輸出諸掛		0.042m ³ × @ ¥5,000/立米	¥ 210
輸出者手数料		¥2,400 × 10%	¥ 240
FOB Japan	(@ ¥153)	輸出価格	¥ 3,060
海上保険		FOB × 110% × 0.5%	¥ 17
海上運賃		0.042m ³ × @ ¥16,000/立米	¥ 672
CIF New York	(@ ¥187)	現地港着値	¥ 3,749
(通貨換算	(@ \$1.87)	¥3,749 ÷ @ ¥100	\$ 37.49)
輸入諸掛		0.042m ³ × @ \$100.00	\$ 4.20
関税		FOB × 10% (平均)	\$ 3.06
輸入者手数料		CIF × 10%	\$ 4.16
倉庫原価		倉庫着原価	\$ 48.91
販売者手数料		原価/15% (配送費込み)	\$ 8.63
卸売価格	(@ \$2.88 (¥288))	店着価格	\$ 57.54
仕向地小売店売価	(@ \$4.11 (¥411))	店着/30%	\$ 82.20 (¥ 8,220)

(注) 仕向地小売店売価は、国内保税庫納入価の約3.4倍(¥8,220÷¥2,400)、国内希望小売価格の約2倍(¥8,220÷¥4,000)になります。

契約の流れの Player たち

19頁の「ケース1」の表の整理

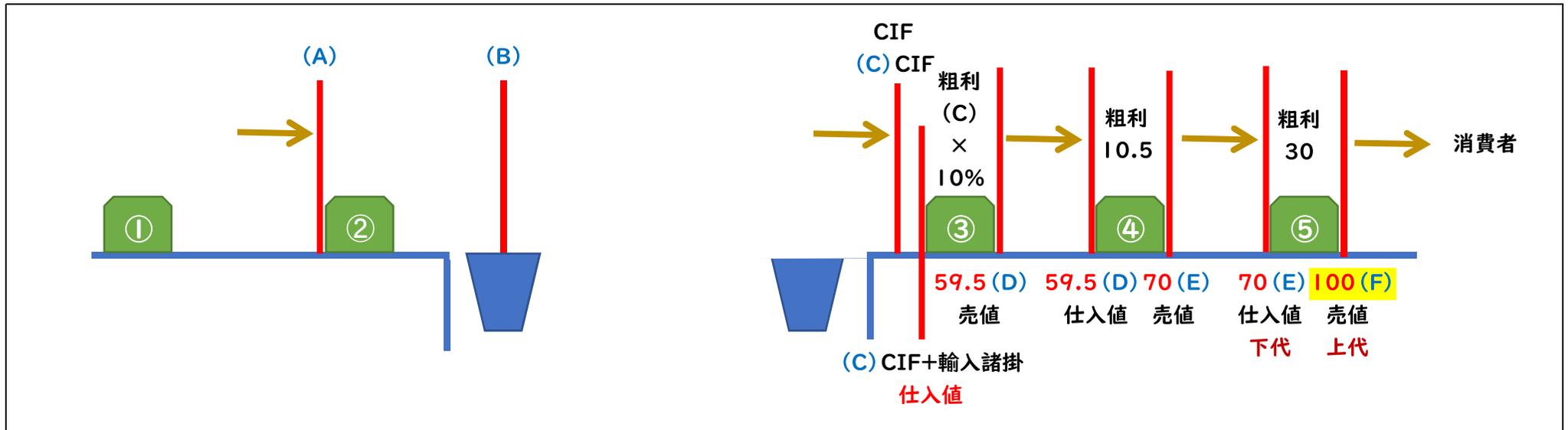
ここでの商流：①メーカー→②日本輸出公社→→③香港輸入公社→④香港バイヤー→⑤香港小売店（スーパー等）としています。

商流の契約形態 1	①⇔②⇔③⇔④⇔⑤の全てが売買契約
商流の契約形態 2	①⇔④と④⇔⑤が売買契約、①⇔②が輸出代行の請負契約、③⇔④が輸入代行の請負契約

香港の上代（小売価格）を 100 とした場合の香港の各業者の粗利の整理（日本輸出公社の売値は CIF 香港港渡し の値段とします）

	仕入値	売値	粗利
①メーカー	—	(A)	—
②日本輸出公社	(A)	CIF	(A)の10%
③香港輸入公社	(C) CIF+輸入諸掛又は 59.5 (D) - (C) CIF の10%	59.5 (D)	(C) CIF の10%
④香港バイヤー	59.5 (D) (70 (E) の85%)	70 (E)	10.5 (70 (E) - 59.5 (D) 又は (E) の15%)
⑤香港小売店	70 (E) (100 (F) の70%)	100 (F)	30 (100 (F) - 70 (E) 又は (F) の30%)

各業者のコストの範囲（商流の契約形態 1 の場合）



この黄色枠を埋めてみよう!
1 ケース (24 袋) 当たりの原価分析

香港の小売価格から、農水省のコストを利用して、1 ケースの値段及び1 袋の値段を逆算し分析してみよう。 ○ 黄色の枠を埋めてください。
国内の輸出港における保税倉庫での引渡値段 (A) を求めてみてください。

1 ケース (24 袋) 当たりのコスト計算の分析例			単価	数量	金額	通貨	(A) の一次方程式で解いてみてください。
国内保税庫納入価 ①	国内の輸出港における保税倉庫での引渡値段 →		?	24	(A)	JPY	(A)
ケースマーク・ラベル代		JPY10-+JPY4-/袋	4	24	106	JPY	106
貼り手間		JPY6-/袋	6	24	144	JPY	144
輸出諸掛		JPY5,000/m3	5,000	0.042	210	JPY	210
輸出者手数料 ②	(輸出商社が存在する場合)	(A) × 10%				JPY	(A) × 0.1
			(B) FOB			JPY	(B)
海上保険	保険料率は便宜上です:	(B) × 110% × 0.5%				JPY	(B) × 1.1 × 0.005
海上運賃		JPY16,000/m3	16,000	0.042	672	JPY	672
			CIF			JPY	CIF
	換算レート 1 HK\$ = JPY14-		(C) CIF	HK\$	14	HK\$	CIF ÷ 14
輸入諸掛		HK\$100-/m3	100	0.042	4.2	HK\$	4.2
関税	香港 Free			Duty	0	HK\$	0
輸入者手数料 ③	(輸入商社が存在する場合)	(C) × 10%				HK\$	(C) × 0.1
	卸売価格の 85% 又は (E) から手数料を引いたもの		(D) 倉庫着原価		426.97	HK\$	426.97
販売者手数料 ④	卸売価格の 15% の粗利	(E) × 15%			75.35	HK\$	75.35
	下代	(F) × 70%	(E) 卸売価格		502.32	HK\$	502.32
仕向地小売店売価 ⑤	上代の 30% の粗利確保のため	上代	(F) 小売価格	29.9	24	717.60	HK\$ 香港小売価格

各チームのプレゼン

調査報告書をチームで作成した後、プレゼンを実施します。

- ・プレゼンは各チームごとにパワーポイントなどを利用して教室全員に向けて発表します。発表時間は各チーム 7 分位までとし、パソコン設定準備時間を含み 10 分間とします。
- ・各プレゼン後、発表したプレゼン内容について、ここは良かったとか、ここをこうの方が良いのではないかななどのコメントをしてあげてください。
- ・全てのチームのプレゼンが終了した後に、どのチームが一番良かったかを評決し、そのチームが第 15 回目の成果発表の際に、第 1 課題のプレゼンを代表します。⇒評決の用紙：<http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/assessment.pdf>

プレゼンテーション評価の採点方法

採点は、話し手の評価として、「聴きやすい」と「説得力がある」という点について、またスライドの内容と構成として、「分り易い」と「良くまとまっている」という点について、

話し手の評価	聴きやすい	説得力がある
スライドの内容と構成	分り易い	良くまとまっている

次の点数で評価することになります。

素晴らしい:5 点	良い:4 点	普通:3 点	もっと工夫が欲しい:2 点
-----------	--------	--------	---------------

振り返り作業

本 PBL 授業の始めに配付しました、次の資料を作成し、お互い評価しましょう。

- ①KPT 法と PDCA サイクル (PBL セッションを通じて作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/kpt-pdca.pdf>

⇒コピーを提出してください。

- ②自己の振り返り評価用 (PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-personal.pdf>

⇒コピーを提出してください。

- ③チームのメンバーの振り返り評価用 (PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-member.pdf>